

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 日医工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4541 URL <https://www.nichiiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 石田 修二 TEL 076-432-2121  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	89,631	△2.1	1,360	△65.3	523	△86.1	369	△91.9	114	△96.1	146	△95.1
2020年3月期第2四半期	91,519	11.1	3,917	△20.7	3,777	△20.0	4,544	△20.7	2,940	△36.4	3,006	△34.9

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△1,051	—	2.28	2.28
2020年3月期第2四半期	72	△99.3	47.14	46.90

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益(非経常項目)を除いて算出しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	327,226	115,042	113,767	34.8	1,777.05
2020年3月期	336,819	117,170	115,826	34.4	1,811.50

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△0.0	6,500	△19.0	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	65,162,652株	2020年3月期	65,162,652株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,142,208株	2020年3月期	1,222,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	63,974,164株	2020年3月期2Q	63,785,258株

(注)期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年11月11日(水)に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会・経済活動の停滞が続き、厳しい景気状況が続いております。

後発医薬品業界におきましては、2020年4～6月における後発医薬品使用割合が79.3%（日本ジェネリック製薬協会：ジェネリック医薬品シェア分析結果）にまで高まり「2020年9月までに後発医薬品の使用割合80%」の政府目標に近接した水準になっています。一方で、2020年4月には2019年10月（消費税率引き上げに伴う改定）から短期間のうちに薬価改定がなされ、当業界にとって厳しい収益環境となりました。

## A. セグメント別の業績

(単位:百万円)	日医工グループ			Sagent グループ		
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減
売上収益	76,851	72,513	▲4,338	14,668	17,304	+2,636
コア営業利益	4,664	2,449	▲2,214	▲747	▲1,088	▲341

- (注) 1. セグメント区分は、「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されております。
2. 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しており、セグメント利益にも「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

## ①日医工グループ

当第2四半期連結累計期間においては下記の取り組みを行っております。

2020年7月に、武田テバファーマ株式会社（以下、「武田テバ」）が保有するジェネリック医薬品及び高山工場に係る事業を譲り受けることを目的として新たに設立された日医工岐阜工場株式会社の全株式を当社が取得することを、テバ・ファーマスーティカル・インダストリーズ社、武田薬品工業株式会社及び武田テバとの間で合意いたしております。

2020年8月に、『リバスチグミンテープ「日医工」』をはじめとする3成分13製品の製造販売承認を取得するとともに、2020年9月には、オーソライズドジェネリック『プロフェキ配合錠「SANIK」』の許諾契約をLTLファーマ株式会社と締結、加えて2020年10月に、オーソライズドジェネリック『ロレアス配合錠「SANIK」』の販売契約をサノフィ株式会社と締結し、製品ラインアップの拡充を図っております。

また、2020年9月に、メドピア株式会社との共同事業として、患者様とクリニックを繋ぐかかりつけクリニック支援サービス「kakari for Clinic」のサービス提供を開始しております。

ただし当第2四半期連結累計期間の日医工グループにおける業績は、2020年6月追補収載品の売上・利益面への寄与があったものの、2019年10月及び2020年4月の薬価改定による薬価引き下げや、新型コロナウイルス感染症拡大による受診抑制、そして営業活動の制限などの影響から、売上収益は725億13百万円（前年同期比43億38百万円減）、セグメント利益は24億49百万円（前年同期比22億14百万円減）と減収減益となりました。

## ②Sagent グループ

当第2四半期連結累計期間においては下記の取り組みを行っております。

コスト競争力・安定供給能力の強化を目指した、Sagent・ローリー工場及びOmega・モントリオール工場における内製化・自社製造能力の拡充の為の体制強化を図っております。

また、バイオシミラー・オーファンドラッグの米国市場への早期上市に向けた取り組みや、Sagent 開発品の日本市場・東南アジア市場への導出に向けた準備も進めております。

当第2四半期連結累計期間のSagent グループの業績は、新型コロナウイルス感染症による受診抑制や手術延期の影響がありましたが、前期上市品や新型コロナウイルス関連製品の売上が伸長したことで、売上収益は173億4百万円（前年同期比26億36百万円増）と増収となりました。しかしながら、Sagent・ローリー工場を進める内製化に伴う製造移管費用の先行発生などにより10億88百万円のセグメント損失（前年同期比3億41百万円減）となりました。

## B. グループ全体の業績

(単位:百万円)	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減
売上収益	91,519	89,631	▲1,888
コア営業利益	3,917	1,360	▲2,556
税引前四半期利益	4,544	369	▲4,174
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,006	146	▲2,860
希薄化後1株当たり四半期利益	46.90	2.28	▲44.62

(注) 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しております。

売上収益は、Sagent グループは増収も日医工グループの減収があり、前年同期比18億88百万円の減収となりました。

コア営業利益は、日医工グループ・Sagent グループともに減益で、前年同期比25億56百万円の減益となりました。

税引前四半期利益は、前年同期にAprogen Inc. 株式の一部売却による売却益の計上があったことなどにより、前年同期比41億74百万円の減益となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比28億60百万円の減益となりました。

新型コロナウイルス感染症に関して、当社グループでは、各部署の執務場所分散・時差出勤等、引き続き全社員が感染拡大防止に努めております。これまでのところ全生産拠点において通常通りの稼働を続けており、調達業務にも大きな影響は出ておりません。売上については、受診抑制による減少傾向が見られたものの、6月以降は持ち直してきております。

別途新型コロナウイルス感染症に関連した治療薬候補として挙げられている当社の『注射用フサン®』の臨床試験が国内外で行われており、さらには国内においてCOVID-19診療の手引きにデキサメタゾン（当社製品名『デカドロン錠』）が治療薬として記載されております。また米国においては、COVID-19陽性のハイリスク外来患者治療のための「カモスタットメシル酸塩」の第Ⅱ相臨床試験（CAMELOTプロジェクト）が開始されております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ95億92百万円減少し、3,272億26百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
現金及び現金同等物	△7,599	富山工場・愛知工場・埼玉工場・静岡工場の製造設備代金の支払など
売上債権及びその他の債権	△10,516	新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令及び米国の一部の州でのロックダウン発令による受診抑制、2020年4月の薬価改定による売上減少など
棚卸資産	+7,175	上記売上減少による棚卸資産増加など
無形資産	+1,781	バイオシミラー及びジェネリック医薬品の開発投資など

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ74億64百万円減少し、2,121億84百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
仕入債務及びその他の債務	△5,940	仕入価格の値下げ、季節変動品の仕入代金の決済など
借入金	+2,002	借入実行など
その他の流動負債	△2,639	売上収益の減少に伴う未払費用・預り金の減少など

当第2四半期連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べ21億28百万円減少し、1,150億42百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
その他の資本の構成要素	△1,158	円高による為替換算調整勘定の減少など

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ75億99百万円減少し、353億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況の詳細は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において11億19百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
棚卸資産の増加	△7,357
減価償却費及び償却費の計上	6,312
売上債権及びその他の債権の減少	10,390
仕入債務及びその他の債務の減少	△4,995

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において89億45百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
有形固定資産の取得による支出	△3,536
無形資産の取得による支出	△5,463

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において2億83百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
借入金の純増	2,351
リース負債の返済による支出	△990
配当金の支払	△959

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績、今後の業績見込を踏まえ、2020年5月18日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益 (百万円)	コア営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	199,000	7,500	7,500	5,200	81.25
今回修正予想 (B)	190,000	6,500	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	△9,000	△1,000	—	—	
増減率 (%)	△4.5	△13.3	—	—	
(参考) 前期通期実績 (2020年3月期)	190,076	8,020	2,873	5,133	80.42

売上収益につきましては、6月追補収載品の売上寄与や、米国での新型コロナウイルス関連製品の売上伸長などによる増収があったものの、新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制、手術延期、営業活動の制限による影響などにより、売上収益の進捗が当初想定を下回る見通しとなったため、前回発表予想から減収となる見通しです。

コア営業利益につきましても、上記売上収益の下方修正による影響に加え、米国での販売単価の下落が想定を上回っていることなどから、前回公表予想から減益となる見通しです。

営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、2020年7月に公表いたしました2021年2月に実施予定である武田テバファーマ株式会社のジェネリック事業譲受による影響額の算出が現時点では困難であることなどから未定とし、算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,944	35,344
売上債権及びその他の債権	39,923	29,407
棚卸資産	78,127	85,302
未収法人所得税	-	118
その他の金融資産	425	425
その他の流動資産	3,287	2,408
流動資産合計	164,708	153,007
非流動資産		
有形固定資産	59,201	58,938
のれん	44,322	43,483
無形資産	56,607	58,389
持分法で会計処理されている投資	2,066	2,024
その他の金融資産	7,925	8,357
繰延税金資産	10	10
その他の非流動資産	1,975	3,016
非流動資産合計	172,110	174,219
資産合計	336,819	327,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	61,750	55,810
借入金	46,747	52,897
その他の金融負債	1,722	1,654
未払法人所得税	214	194
返金負債	3,270	2,431
契約負債	116	116
その他の流動負債	8,868	6,228
流動負債合計	122,690	119,332
非流動負債		
借入金	87,045	82,899
その他の金融負債	2,257	1,925
退職給付に係る負債	945	986
引当金	81	82
返金負債	95	82
契約負債	748	690
繰延税金負債	4,521	5,014
その他の非流動負債	1,262	1,171
非流動負債合計	96,958	92,852
負債合計	219,648	212,184
資本		
資本金	23,360	23,360
資本剰余金	21,896	21,896
その他の資本性金融商品	9,918	9,918
自己株式	△2,562	△2,435
利益剰余金	57,365	56,337
その他の資本の構成要素	5,848	4,690
親会社の所有者に帰属する持分合計	115,826	113,767
非支配持分	1,343	1,274
資本合計	117,170	115,042
負債及び資本合計	336,819	327,226

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	91,519	89,631
売上原価	72,509	73,950
売上総利益	19,009	15,680
販売費及び一般管理費	12,980	13,074
研究開発費	2,100	1,879
その他の営業収益	168	142
その他の営業費用	318	346
営業利益	3,777	523
金融収益	44	90
金融費用	789	445
持分法による投資損益(△は損失)	△31	200
その他の収益	2,166	-
その他の費用	624	-
税引前四半期利益	4,544	369
法人所得税費用	1,604	254
四半期利益	2,940	114
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,006	146
非支配持分	△66	△31
四半期利益	2,940	114
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	47.14	2.28
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	46.90	2.28

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	2,940	114
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△690	355
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△80	△0
純損益に振り替えられることのない項目合計	△770	354
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,981	△1,520
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△115	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,097	△1,520
その他の包括利益(税引後)	△2,867	△1,166
四半期包括利益	72	△1,051
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	137	△982
非支配持分	△65	△68
四半期包括利益	72	△1,051

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2019年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	55,016	6,367	2,371
会計方針の変更					△49		
修正再表示後の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	54,967	6,367	2,371
四半期利益(△は損失)					3,006		
その他の包括利益						△2,097	△770
四半期包括利益合計	-	-	-	-	3,006	△2,097	△770
新株の発行に係る直接発行費用		△5					
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△243		
自己株式の処分		△38		187			
自己株式処分差損の振替		8			△8		
配当(注)					△956		
株式報酬取引							
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替		5			△5		
その他の資本の構成要素からの振替					113		△114
所有者との取引額合計	-	△29	-	187	△1,100	-	△114
2019年9月30日時点の残高	23,360	21,866	9,918	△2,706	56,873	4,269	1,487

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計				
2019年4月1日時点の残高	-	285	9,025	116,323	0	116,323	
会計方針の変更				△49		△49	
修正再表示後の残高	-	285	9,025	116,274	0	116,274	
四半期利益(△は損失)				3,006	△66	2,940	
その他の包括利益	△0		△2,868	△2,868	0	△2,867	
四半期包括利益合計	△0	-	△2,868	137	△65	72	
新株の発行に係る直接発行費用				△5		△5	
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配				△243		△243	
自己株式の処分		△37	△37	111		111	
自己株式処分差損の振替				-		-	
配当(注)				△956		△956	
株式報酬取引		41	41	41		41	
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替				-	838	838	
その他の資本の構成要素からの振替	0		△113	-		-	
所有者との取引額合計	0	4	△109	△1,052	838	△213	
2019年9月30日時点の残高	-	289	6,047	115,359	773	116,132	

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2020年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235
四半期利益(△は損失)					146		
その他の包括利益						△1,483	354
四半期包括利益合計	-	-	-	-	146	△1,483	354
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△220		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△24		127			
配当(注)					△959		
新株予約権の失効					29		
利益剰余金から資本剰余金への振替		24			△24		
所有者との取引額合計	-	-	-	127	△1,174	-	-
2020年9月30日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,435	56,337	2,856	1,589

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	確定給付制 度の再測定	その他	合計			
2020年4月1日時点の残高	-	274	5,848	115,826	1,343	117,170
四半期利益(△は損失)			-	146	△31	114
その他の包括利益			△1,128	△1,128	△37	△1,166
四半期包括利益合計	-	-	△1,128	△982	△68	△1,051
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配			-	△220		△220
自己株式の取得			-	△0		△0
自己株式の処分			-	103		103
配当(注)			-	△959		△959
新株予約権の失効		△29	△29	-		-
利益剰余金から資本剰余金への振替			-	-		-
所有者との取引額合計	-	△29	△29	△1,076	-	△1,076
2020年9月30日時点の残高	-	245	4,690	113,767	1,274	115,042

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,544	369
減価償却費及び償却費	5,498	6,312
減損損失(又は戻入れ)	0	-
受取利息及び受取配当金	△44	△90
支払利息	294	279
持分法による投資損益(△は益)	31	△200
関連会社株式売却損益(△は益)	△1,762	-
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	7,177	10,390
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,434	△7,357
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	47	△4,995
未払費用の増減額(△は減少)	1,025	△1,375
返金負債の増減額(△は減少)	75	△823
その他	△1,418	△1,386
小計	12,036	1,123
配当金の受取額	86	60
利息の受取額	4	4
利息の支払額	△293	△275
法人所得税の支払額	△331	△154
法人所得税の還付額	229	360
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,732	1,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,923	△3,536
無形資産の取得による支出	△6,318	△5,463
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	3,200	-
貸付金の回収による収入	71	33
子会社の取得による支出	△6,341	-
その他	△59	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,370	△8,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	55	7,037
長期借入金の返済による支出	△4,288	△4,685
リース負債の返済による支出	△772	△990
配当金の支払額	△957	△959
その他の資本性金融商品の所有者に対する分配額	△243	△220
その他	86	103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,120	283
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	△57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,684	△7,599
現金及び現金同等物の期首残高	42,093	42,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,408	35,344

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、前連結会計年度より2022年3月期を最終年度とする第8次中期経営計画「NEXUS∞」を策定いたしました。「NEXUS∞」では『無限大の連繋力で今を超える』をテーマとして3つのシナジー（「領域/地域」「コスト」「人財」）を最大化し、4つの基本戦略「事業領域のさらなる深化/進化」「徹底したオペレーション最適化の追求」「グローバル水準の品質確保、競争力強化」「ESG活動を基盤としたライフサイエンス企業としての信頼確保」を取り組むことによって、グローバル総合ジェネリックメーカーへとさらなる進化を遂げることを目指しており、目標値の一つとして2022年3月期の海外売上高600億円を設定しております。報告セグメント区分は「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されています。

報告セグメントの売上収益、セグメント利益又は損失は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	76,851	14,668	91,519	—	91,519
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	76,851	14,668	91,519	—	91,519
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	4,664	△747	3,917	—	3,917

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いております。

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	72,513	17,304	89,818	—	89,818
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	72,513	17,304	89,818	—	89,818
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	2,449	△1,088	1,360	—	1,360

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

報告セグメントの合計額と要約四半期連結財務諸表計上額の差異の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益計	91,519	89,818
自主回収返品引当	—	187
要約四半期連結財務諸表上の売上収益	91,519	89,631

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
セグメント利益	3,917	1,360
統合関連費用	138	90
自主回収費用	—	746
減損損失	0	—
営業利益	3,777	523
金融収益	44	90
金融費用	789	445
持分法による投資損益 (△は損失)	△31	200
その他の収益	2,166	—
その他の費用	624	—
税引前四半期利益	4,544	369

## (2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの売上収益は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	17,431	—	17,431
血液及び体液用薬	13,906	—	13,906
抗生物質	4,897	4,902	9,799
神経系用薬	8,695	—	8,695
消化器官用薬	8,361	—	8,361
アレルギー用薬	6,740	—	6,740
化学療法剤	1,248	5,183	6,431
その他	15,569	4,582	20,152
合計	76,851	14,668	91,519

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	14,753	—	14,753
血液及び体液用薬	13,220	—	13,220
神経系用薬	8,878	—	8,878
抗生物質	3,941	4,604	8,545
消化器官用薬	7,691	—	7,691
アレルギー用薬	5,960	—	5,960
化学療法剤	1,157	4,259	5,416
その他	16,910	8,441	25,351
合計	72,513	17,304	89,818

（注）コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。

## (3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	76,686	—	76,686
米国	—	12,786	12,786
その他	164	1,881	2,046
合計	76,851	14,668	91,519

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	72,428	—	72,428
米国	—	15,015	15,015
その他	85	2,289	2,374
合計	72,513	17,304	89,818

(注) 1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。